

「平和主義を次世代へ」

中央大で安保法制反対集会

安保法制に反対する中央大学集会在21日、東京・八王子市の中央大学多摩キャンパスで開かれました。安保法制に反対する中大生の会と教員有志の会の共催。学生や教員ら100人超が参加しました。

同大副学長で法学部の橋本基弘教授と、畑尻剛教授が講演。橋本氏は、国際情勢の変化は憲法解釈の変更理由にはならないと指摘。「国民の憲法意識に基づいていないのならば、立憲主義は成り立たない」と述べました。

畑尻氏は、日本国憲法の前文と9条の条文を挙げ、「平和主義の維持は次世代への責任だ」と主張しました。

同大の卒業生で弁護

安保法制に反対する中央大学集会11月21日、東京・八王子市



士の長尾詩子氏や、中大生の会の学生がリリーススピーチ。「誰の子

どもも殺させないを一致点にする『ママの会』でこれからも頑張る。2000万署名の力で野党を共闘させよう」（長尾氏）、「僕は福島出身ですが安倍政権は安保法制を推進しながら原発事故の被害者を見捨てている。一人ひとりが声をあげなければ」（文学部2年・男性）と呼びかけました。同大元教授の横湯園子氏が応援のあいさつ。日本共産党の池内

さおり衆院議員や、民主主義、民主主義を否定する安保法制の廃止を求めるアピールが読介され、立憲主義、平み上げられました。